

# カリキュラム

(A)生産管理	<b>製造分野におけるDX推進</b>
管理手法	

コースのねらい	生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。
---------	---

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	1 製造業におけるDXの理解	(1)DXとは ・新しい価値を創造するDX ・製造業におけるDXとは ・日本式製造業の限界 (2)スマート化を目指す ・スマートファクトリ ・スマートプロダクト ・スマートサービス (3)DXの狙い ・業務革新と顧客価値の創造 ・リードタイムの短縮と生産性の向上 ・DX推進の現状把握と課題認識 【演習①】アンケート	1.0
	2 DX実現事例	(1)DX導入事例 ・スマートファクトリの紹介 ・デジタル技術で解決する事例 (2)DXで解決したいものづくりの課題 ・属人化した仕事の標準化 ・デジタル化による生産性、品質改善 ・開発～製造リードタイム短縮 【演習②】グループ討議 (3)データドリブンのものづくり ・全社最適で推進するDX ・開発～製造～サービスをデータで繋げる	1.5
	3 DX推進の目標設定と解決策	(1)ものづくりの課題抽出 ・ものと情報の流れ図の作成 【演習③】ものと情報の流れ図 or 工程フロー図作成演習 ・工程フロー図の作成 ・開発～製造リードタイム短縮 (2)DXで解決する課題抽出 ・業務革新、顧客価値創造に向けて ・アナログ処理のデジタル化 【演習④】 工程データの整理 ・全社全体最適で推進するDX (3)様々な課題をDXで解決する ・DX推進体制の整備 ・DXの目的、目標設定 ・取り組み優先順番の決定、DX推進マップの作成	2.0
	4 DX推進の計画と実行	(1)データドリブンものづくり実践 ・PoCによるPDCA活動について ・計画と実績の見える化 【演習⑤】DX推進マップの作成 ・データ収集、蓄積、加工 (2)社内部門連携で進めるDX ・全社的横断的なDX組織づくり ・中長期DX推進の実行計画の策定 (3)社外資源の活用と連携 ・システム開発の手順 ・アジャイル開発とフロントローディング ・提案依頼書作成 (4)DX推進人材育成と人材の確保 ・DXを推進するために必要な技術と人材 ・人材育成の要点	1.5
	演習	①DX推進の現状把握のアンケート ②DX推進に関する課題認識についてのグループ討議 ③自社における製造課題、顧客価値を整理する。 (ものと情報の流れ図、工程フロー図) ④工程データの整理 ⑤自デジタル化で解決できるテーマを考える(DXマップ作成)	
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
(1) 製造業においてDXが成功するために必要な要件を理解して頂きます。 (2) 企業におけるDX推進活動に有効な考え方を説明し、自社の今後のDX活動の構想が描けるように進め方を学んで頂きます。実際に考えて、グループ討議を重ね、議論することで新しい気づきを発見して頂きます。 (3) 演習を通じて、自社の生産プロセスを革新するためのDXの方策を検討して頂きます。

講師から一言
製造分野におけるDX推進をテーマにした研修。デジタル化に対応することによるビジネスモデル改革を学ぶカリキュラムです。